

＜主な政策課題についての私の考え方(要旨)＞

(4)TPP についての考え方

新しい時代の国際的な経済活動のルールづくりに参画していくことは、日本経済の発展のために重要。しかし、そもそも国民の理解を得る為の情報とその開示が決定的に不足。日米関係を修復するために、野田総理が頭を下げて参加させてくれと言わんばかりの交渉姿勢には断固反対。他方、私自身、USTR 幹部と話し、米国の本音も確認。米国も豪州との二国間 FTA では砂糖、酪農製品を例外扱い。外交交渉力に基づき、日米が同盟国としてお互いの立場を尊重すれば、一定の例外を確保することも十分可能。しかし、例外が認められないなど、我が国の主張が認められなければ、参加はあり得ない。